



この地図は、中央区を流れる隅田川・神田川・日本橋川流域に、既存下水道施設の処理能力を超える大雨が降り、水があふれた場合の浸水予想結果にもとづいて、浸水する範囲とその浸水深並びに避難場所を示した地図です。

- 大雨の規模は平成12年9月の東海豪雨(総雨量589mm、時間最大雨量114mm)を想定しています。
- 浸水深は各メッシュ(50m×50m)内においての、平均地盤高に対する最大の水深となる時点での深さを表示しています。

水害の恐れがあるときには、地下空間にいる人は地上階に上がり、区から避難勧告がでたら、速やかに頑強な建物の2階以上に避難してください。

なお、地図に示した浸水区域以外でも、状況によっては浸水することもありますので、十分に注意してください。

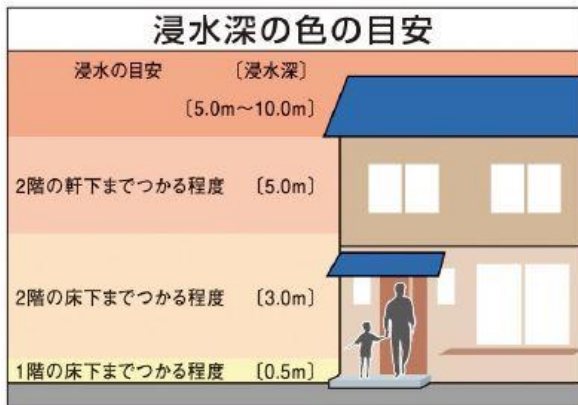
平成27年3月 中央区

浸水深の色の目安		凡 例	
	浸水深0.2以上～0.5m未満		避難場所
	浸水深0.5以上～1.0m未満		警察署
	浸水深1.0以上～2.0m未満		消防署
	浸水深2.0以上～5.0m未満		救急指定病院
	避難場所		交番
	警察署		出張所
	救急指定病院		
			• 防災関係機関



この地図は、荒川流域で1,000年に1回程度起こる大雨(3日間総雨量632mm)が降り、荒川の堤防が決壊した場合、中央区において浸水が予想される地域とその深さを想定したものです。浸水が始まるのは破堤から12時間後とされています。水害の恐れがあるときには、速やかに頑強な建物の3階以上、またはお近くの浸水しない地域に避難してください。なお、地図に示した浸水区域外でも、状況によっては浸水することもありますので、十分に注意してください。

平成31年3月 中央区



凡 例

	浸水深0.5m未満		
	浸水深0.5以上~3.0m未満		
	浸水深3.0以上~5.0m未満		
	浸水深5.0以上~10.0m未満		
	避難場所		
	警察署		交番
	消防署		出張所
	救急指定病院		防災関係機関